

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2025-2026
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2520
GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

CONTENTS

ガバナーメッセージ	02
特別月間テーマに寄せて	03
ガバナー補佐紹介	04
多賀城1300ロータリー衛星クラブ 創設の申請調印式	08
ロータリー・マガジン編集チームより	09
新入会員紹介、編集後記	10

8

2025
月信
VOL.02





自由と世界平和を祈念して

国際ロータリー第2520地区 2025-2026年度ガバナー

加藤 雄彦 Takehiko Katoh

親愛なる第2520地区ロータリアンの皆さまへ
盛夏の候、暑中お見舞い申し上げます。
各地で夏祭りが開催されるなか、皆さまにおかれましてもご健勝にて地域活動やクラブ例会にご尽力されていることと存じます。

今月の月信の花は「向日葵(ひまわり)」です。花言葉は「未来を見つめて」そして「願望」。太陽を見上げるその姿は、希望に満ちたロータリアンの在り方そのもののようです。

この花にウクライナの象徴を重ねる方も多いかもかもしれません。実は、ひまわりは旧ソ連時代からロシアの国花であり、ウクライナにとっても長く心に根ざした象徴的存在です。ロシアとウクライナは、まるで兄弟のように歴史と文化を共有してきた隣国です。それだけに、いま進行している戦争の惨禍、命を奪い合う現実、あまりにも痛ましく、私たちの心を深く揺さぶります。

力で得たものは、やがてその力で失われる——それが歴史の教える真理です。

私たちロータリアンは、対話と理解によって築かれる真の平和の価値を知っています。そして、そこには自由と尊厳が不可欠です。

去る7月19日、仙台育英学園宮城野校舎にて第2520地区インターアクト年次大会が盛大に開催されました。今年度の大会テーマは「自由と平和」。14クラブ、約200名の高校生が集い、未来を見つめる若き力があふれる一日となりました。

特筆すべきは、仙台東ロータリークラブの尽力に

より、ウクライナD2232地区チェルカスイ・ロータリークラブが支援する第27学校インターアクトクラブから6名の女子高校生と2名の引率教員が来日し、日本の高校生たちと語り合い、共に学び合う機会が実現したことです。これは本年度のDDF地区補助金を活用して実現された事業であり、まさに国際理解と平和構築の現場でした。

一方で、多賀城ロータリークラブでは、新たな希望の種が芽吹きました。仙台東RCをスポンサーとして設立されたこのクラブは、芦澤卓也会長を中心としたリーダーシップと全会員の対話の成果として、「T1300ロータリー衛星クラブ」が誕生。国際奉仕に特化した23名の新しい仲間が加わり、母体クラブの会員数は実質倍増という成果を挙げられました。

「変革に挑む勇氣」「対話を重ねる粘り強さ」「志を共にする力」——これこそ、ロータリーの真髄です。

今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

この機を逃すことなく、すべてのクラブにおいて、次代を担う仲間との出会いを求め、地域のニーズに応えるクラブ戦略を再点検し、**新しいロータリーの姿を描く勇氣を持っていたきたいと願っております。**

奉仕の灯火を、あなたの手で。

クラブの中から、地区へ。そして世界へ。

私たち2,000人の奉仕の心が結集すれば、世界を変える「善の力」となる。

ともに掲げましょう——「UNITE FOR GOOD」。

特別月間テーマに寄せて



会員増強・新クラブ結成進月間に寄せて

会員増強・クラブ活性化委員会 委員長

加藤 幹夫 Mikio Katoh

ロータリー特別月間「Special month in rotary」は、ロータリーとして取り組む課題についてロータリークラブで取り組むだけではなく、皆様ロータリアン一人ひとりが考え、ロータリーの活動に参加するよう、国際ロータリーが指定した月間のことです。8月は「会員増強・新クラブ結成月間」というテーマが設定されていますので、会員増強・クラブ活性化委員会の委員長として、皆様のお力になるよう今年度の取組みについてお話いたします。

私も今年度から初めて会員増強・クラブ活性化委員長になりましたので、「会員増強・新クラブ結成推進月間」を考えるロータリアンの皆様のヒントになることを願い、4月17日に東京で開催された「クラブ活性化セミナー 2025」での会員増強について紹介いたします。

まず、クラブ活性化セミナーでは、2025-26年度マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長のテーマ「UNITE FOR GOOD」“よいことのために手をとりあおう”を紹介し、マリオRI会長のお話の中から、ロータリーの最優先事項に「会員増強」を挙げたことと、その必要性として、ロータリーの世代継承のため、ロータリークラブは地域にとって必要なもので、歴史や文化を大切にしながら会員増強に取り組むことを望むと続けて、その会員増強はRIの指示ではなく各ロータリークラブにふさわしい方法で取り組むべきだと話しています。また大事な3つの言葉があると「membership」を3回続けて強調しました。講師はメンバーシップ＝会員増強と訳していましたが、私はメンバーシップの持つ「会員が組織の一員として、それぞれの役割を果たしことで組織の目標達成に貢献するという相互理解と協力」という意味も含まれていると理解しました。

では皆さんロータリアンは、どのように「会員増強・新クラブ結成」に取り組みますか。まずは退会防止が大事です。高齢ロータリアンの自然退会もありますので、退会する会員の後継者の方に、退会前からロータリー

に参加してもらうなど、交流をしていただきたいです。

意識したいのはマリオRI会長の言葉にあるように、皆さんがいるロータリークラブの歴史や文化を大切に、ロータリークラブを理解してもらい会員を増やしていただきたいのです。それでも会費が高い、決まった場所に集合しにくいなど、皆さんのロータリークラブでの入会対応の難しい方々には、ロータリーに共感して入会できるように、マリオ会長は新クラブの結成をお願いしています。ぜひ私たち委員会にご相談ください。

8月の「会員増強・新クラブ結成月間」にロータリアンの皆様が楽しい例会の仲間を広げる意識を持っていただければうれしいです。最後にロータリアン以外の入会予定者とのコミュニケーションが、皆様ロータリアンの元気で楽しいクラブ運営に繋がることを期待しています。



ガバナー補佐紹介

ガバナー補佐紹介



第1分区ガバナー補佐

齋藤 豊

(久慈RC)

前年度より引き続き2520地区、第1分区のガバナー補佐を務めます。久慈RCの齋藤 豊です。1年前はガバナー補佐を務められるか、ガバナーや地区の方々にご迷惑をおかけしないかと不安のスタートでしたが、不勉強な私にとって様々な会合への出席、そして他のクラブ例会に度々お邪魔できたことは、多くの事を学ぶ、とても良い機会となりました。引き続きガバナーの方針を各クラブにお伝えし、クラブからは課題、問題などをお聞きして、地区とクラブ間の情報共有、連携を深めるように努めて参ります。そしてガバナー補佐の役割、地区は何のためにあるのかを常に意識して、加藤ガバナーとともに「クラブ基盤の強化とロータリーの公共イメージの向上」に向けて活動して参ります。ロータリークラブの活動を通じて、多くの素晴らしい出会いや楽しい経験をさせていただきました。次の1年間もガバナー補佐としてクラブの皆さんと共に成長し、地域社会に貢献できるよう頑張ります。皆様には前年度の御礼を申し上げますとともに、今年度のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



第1分区ガバナー補佐

小山田 榮二

(盛岡西RC)

今年度、第1分区ガバナー補佐を拝命いたしました盛岡西ロータリークラブの小山田榮二と申します。ロータリー歴は30年で後期高齢者になりますが、盛岡駅前ビルの3階で、息子が開設する歯科医院の診療に従事しています。

担当は盛岡RC、盛岡北RC、盛岡西RC、盛岡南RC、盛岡東RC、盛岡中央RC、盛岡西北RC、盛岡滝ノ沢Rの盛岡ゾーン8クラブとなります。

国際ロータリー会長フランチェスコ・アレツツォ氏は、「よいことのために手を取りあおう」(Unite for Good)というメッセージを発信しています。多くの人と手を取り合い、多くの奉仕活動を広めるために、会員増強が必要と強調しています。

加藤雄彦ガバナーからは「検討し、更新しよう」(Review&Renew)を地区運営方針とすることを表明されました。この方針に向けて、それぞれのクラブの特性に応じた3年間の行動計画の実現、会員の多様性・公平さ・インクルージョン(DEI)、奉仕活動などを通じた公共イメージの向上などが目標です。

ガバナー補佐の役割をよく理解せずに引き受けてしまったのですが、クラブと地区の間のパイプ役として、風通しの良い運営をサポートしたいと思えます。今年一年間、皆様のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。



第2分区ガバナー補佐

佐藤 克也

(花巻北RC)

今年度、第2分区花北ゾーンのガバナー補佐を拝命致しました花巻北ロータリークラブの佐藤克也と申します。

フランチェスコ・アレツツォ氏が25-26年度RI会長に決まり安堵しているところがあります。会長メッセージの「良いことのために団結しよう」(Unite for Good)は変わらないと我々に伝えております。

また、加藤ガバナーは、『「Unite」という言葉は非常に力強い言葉だと思います。分断された社会において、非常に力強い言葉です。分断の種をまくのは簡単、しかし共通点を見つけるのははるかに難しいと述べるデ・カマルゴ氏は、「私たちは常に人の欠点を探しますが、人の才能を見つけるべきなのです」と話します。そこにロータリーの存在感があります。ロータリーには、地域社会や世界中の人々につながるための機会があります。」と示されています。

私が担当する、花北ゾーンは、国内はもとより国外にむけても様々な奉仕活動を積極的に取り組み、良いことのために団結し活動を実践しているクラブであると認識しております。また、昨年度からスタートした3-Years Rolling Goalsが2年目となり、各クラブが継続的に取り組まれている活動が目標達成にむけ努力され、さらに魅力あふれるクラブとなるべく、地区・ガバナーとクラブの懸け橋として、お力添えができればと思います。奉仕と親睦と友情を柱に微力ながら精いっぱい取り組んでまいります。一年間よろしくお願ひ申し上げます。



第2分区ガバナー補佐

安藤 早苗

(奥州水沢東RC)

2025-26年度第2区分のガバナー補佐を仰せつかりました奥州水沢東RCの安藤早苗と申します。

2023-24年度より米山記念奨学会委員会の地区委員を務めながらロータリーの楽しさを覚えました。また世界大会にも3回参加することができ交流を深めて参りました。次回は台湾ですので、多くの皆さんと参加したいと思います。

ガバナー補佐を受けまして、ハラスメントのない世界を目指すために2026年1月31日(土)のIMでは「DEIの大切さと意義を改めて考え実践していきましょう」と提唱しております宮里唯子PDG様(2660地区)の基調講演を予定しております。皆さんと共に成功させたいと思います。

補佐の役目としてガバナーの「目、耳、手、足」となり、責任のある行動を心掛けたいと思います。ロータリー歴は浅いですが、親睦を深めながら一年間皆様のご指導ご協力の程お願ひ申し上げます。

ガバナー補佐紹介

第3分区ガバナー補佐



遠藤 弓子

(花泉RC)

今年度、第3分区一関・平泉ゾーン(一関RC、一関中央RC、平泉RC、花泉RC)担当いたします花泉ロータリークラブ、ガバナー補佐遠藤弓子と申します。

会員数減少する中で、ガバナー補佐2度目、会長は3度目、地区では、国際、社会、財団、米山委員会では活躍よりも親睦を只々楽しんで参りました。

更に国際、国内、地区、クラブ事業は機会ある度に、多く参加、出席致しました。現在も鮮明に記憶している国際ロータリー常設プログラム(RFX)ロータリアンの友情交換です。

そして会員は出席(メークアップ)、「友」の購入、会費納入は大切な義務で、活動は私達会員の権利である事を改めて補佐研修で勉強し実感致しました。

2520地区・加藤ガバナーは、行動計画の2年目として新たな地区目標を掲げておられます。補佐として地区、分区を円滑につなぎ素晴らしい組織をしっかりと継続していくために、会員増強や財団、米山への寄付増額が大切であることも十分に承知しております。ただ、多様な価値観を持つ会員(日本)の皆さんに十分理解いただけないまま進めると、かえって逆効果になってしまう可能性もあるのではないかと感じていますので、できるだけ丁寧、穏に進めて参ります。

加藤ガバナーはじめ、補佐の皆さま、そしてクラブ会員の皆さまに、今後とも温かいご指導とご支援をいただきましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

第3分区ガバナー補佐



中野 貴徳

(陸前高田RC)

このたび、2025-2026年度第3分区ガバナー補佐を拝命いたしました、陸前高田ロータリークラブの中野貴徳です。歴代のガバナー補佐の皆様のご尽力に心より敬意を表し、微力ながら精一杯努めてまいります。

分区内クラブの皆様と力を合わせ、一年間を共に歩んでいけることを大変うれしく思っております。ロータリーの魅力は、多様な経験や価値観を持つ仲間が集い、地域や社会のために真剣に活動できる点にあると実感しています。

今後は、各クラブがそれぞれの特色や強みを十分に発揮し、会員同士の交流や学び合いの機会がさらに広がることを願っています。互いに刺激し合いながら、前向きに挑戦を続けていけるよう、全力でサポートしてまいります。

また、変化の時代だからこそ、これまでの枠組みにとらわれず、新しい発想やチャレンジも大切にしたいと考えています。会員一人ひとりが主役となり、いきいきと活動できる一年となるよう努めてまいります。

一年間、どうぞよろしくお願いたします。そして、皆様のお力添えとご協力を心よりお願い申し上げます。

第4分区ガバナー補佐



千葉 純子

(遠野RC)

この度、2025-2026年度第4分区ガバナー補佐を務めさせていただく遠野ロータリークラブの千葉純子です。初めての任務で身の引き締まる思いです。すでに3回の2025-2026年度ガバナー補佐会議・地区研修協議会に参加させていただきました。2025-2026ガバナーである加藤雄彦様他役員の皆様のお話を伺い、ロータリーの奉仕の心を持ち、クラブ行動戦略を策定し、加藤ガバナーのご指導の下、地区と各クラブをつなぐ役割を重く感じている次第です。さらには、各クラブの皆様方のご指導・ご協力をいただき1年を務めさせていただきます。今期の第4分区のIMは、7月26日(土)に開催いたします(遠野ロータリー担当)。早速、開催に向けて計画を進めているところです。今回のIMの基調講演は、クラブ補助金を活用させていただきまして、「柳田国男生誕150年記念シンポジウム」としてオープンな開催とし、地域市民の方がたにも多数参加していただく予定です。演者には、民俗学者である赤坂憲雄先生をお招きして、「『救世済』と言う知見を未来志向で安全かつ健康的な地域社会へ!!」の演題で行います。会員皆様多数の参加を期待しております。どうぞよろしくお願いたします。

第4分区ガバナー補佐



寺崎 勉

(宮古RC)

第4分区ガバナー補佐、宮古RC寺崎勉です。職業分類は乳製品卸販売業・ヤクルト屋です。

私の住む宮古市は三陸海岸の中心に位置し自然豊かな風光明媚な街です。近年は大型クルーズ船観光のメッカとして注目されており、今年も16艘の寄港が予定されています。美しい白い岩と澄んだ海が特徴の「浄土ヶ浜」、津波の歴史や自然の景観を学べる「三陸ジオパーク」、ウニ・アワビ・ホタテなどの新鮮な「海の幸」。これらの観光資源が多く外国人観光客や国内クルーズの乗客にとって大変魅力的に見えているのでしょう。

東日本大震災津波で大きな被害と多くの犠牲者を出してしまったこの地域は、国や県などの行政の支援、地域の民間企業や多くの住民の努力もあり、震災からの復旧・復興を遂げつつあります。しかしながら、震災後の人口減少は加速度的に進み、民間企業の経営状況も厳しく、温暖化による海の恵みも不漁が続き、地域の状況は厳しいものがあります。

外の目から見た地域の魅力と観光資源を新たな産業に生かせることができれば、元氣な街に生まれ変わるチャンスがあるはずです。

組織拡大という目標に元氣な街は切り離せないテーマであります。RCが目指す目標をしっかりと地域の方々に知ってもらい、明るい元氣な未来を見せる活動をしてゆく。RCLかできない「マジック」を示す活動をしてまいります。

ガバナー補佐紹介

第5分区ガバナー補佐



阿部 俊範

(石巻東RC)

第5分区三陸ゾーンガバナー補佐を仰せつかりました石巻東ロータリークラブの阿部俊範と申します。担当は宮城県の石巻地域にある石巻東、石巻南、石巻西の3クラブです。私はロータリークラブ歴26年目をむかえ、石巻市であべ動物病院を開業しながら石巻東ロータリークラブで楽しいロータリーライフを過ごしております。二人の娘は仙台育英学園秀光中等教育学校でお世話になり、長女は法曹の道へ、次女は獣医師となり弊院で働く様になりました。

その様ななかで、今回加藤雄彦ガバナーの補佐を命ぜられたことは報恩の機会と思っております。

加藤ガバナーからお教えいただいたGuy Gundaker氏のA Talking Knowledge of Rotary「親睦と学びを基盤に価値ある奉仕を通じて自分自身立派なロータリアンに成長出来るようにそして寛容」と今度は再び自分が学ぶ機会を与えられたのかと思います。

加藤雄彦ガバナーの方針に沿いながら、著名なガバナー補佐の面々とともに国際ロータリーや地区とクラブとの橋渡し役となるよう精一杯務めさせていただきます。

私自身学びながら楽しく任務にあたることとなりますが、皆様のご指導とご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

第5分区ガバナー補佐



高橋 利光

(佐沼RC)

このたび2025-2026年度のガバナー補佐を拝命した、佐沼ロータリークラブ所属の高橋利光と申します。

私が担当する登米・栗原ゾーンには、栗駒ロータリークラブ、築館ロータリークラブ、若柳ロータリークラブ、そして佐沼ロータリークラブの4つのクラブがあります。

このゾーンの特徴は、素晴らしい自然に恵まれていること、そして各々の町に独自の文化や伝統があることです。

郷土の山である「栗駒山」は紅葉が素晴らしく、神々の絨毯と言われています。また日本で2番目にラムサール条約に登録された「伊豆沼・内沼」は、毎年数万羽のマガンや白鳥が、遠くシベリアや極東ロシアから渡ってくる国内有数の越冬地です。さらに、2020東京オリンピックの開催候補地にもなった「長沼」は、日本ローイング協会A級コースに認定されており、国際レースができる国内有数の場所です。

我々の地域の最大の問題は、過疎化による人口減少です。高齢者の割合も高く、仕事の担い手不足や、若者の転出、少子化に対処するため、官民一体となって街づくりや町おこしに取り組んでいます。

登米・栗原ゾーンでは、どのクラブも会員増強に苦心しています。加藤雄彦ガバナーのご指導をいただきながら、地域に密着したロータリー活動をより一層充実させ、ロータリークラブの魅力を発信していく所存です。皆様ロータリアンのご支援・ご協力をお願いいたします。

第6分区ガバナー補佐



早坂 竜太

(古川東RC)

2025-2026年度 第6分区大崎ゾーンのガバナー補佐を拝命した、古川東RCの早坂竜太と申します。本年度は、地区ガバナーノミニーを兼任しておりますので、宜しくお願い致します。

第6分区大崎ゾーンには、古川RC、古川東RC、岩出山RC、加美RCの4クラブが属します。これらのクラブが所在する地域は古くから「大崎地域」と呼ばれ、連携した事業や活動が行われてきました。

特に、大崎地域広域行政事務組合には、大崎市(1市6町:古川市、岩出山町、鳴子町、三本木町、松山町、鹿島台長、田尻町が2006年に合併)、加美町(3町:中新田町、小野田町、宮崎町が2035年合併)、色麻町、美里町(2町:小牛田町、南郷町2006年合併)、涌谷町の1市4町が属し、世界農業遺産「大崎耕土」の認定区域も一致します。

このように古くから連携し地域の誇りを一にする地域として、今年度は大崎ゾーンの4クラブ合同で、世界農業遺産「大崎耕土」の保全活動を続ける団体への奉仕事業を実施する予定です。

RI会長はじめ加藤ガバナーが目指す方向性に対し、ゾーン内各クラブ(会員)の意識統一を図り、団結して活動できるよう微力ながら尽力する所存です。

関係皆様のご指導とご協力のほどを、何卒宜しくお願い申し上げます。

第6分区ガバナー補佐



佐浦 弘一

(塩釜RC)

今年度第6分区松塩グループ担当のガバナー補佐を拝命しました塩釜RCの佐浦弘一です。職業は昨年創業300年の節目を迎えた日本酒醸造業を営んでいます。塩釜RCは1951年の創立ですが、私の祖父はチャーターメンバーであり、2002年に逝去した父もロータリアンでした。私は2005年に入会し2016-17年度にはクラブの会長を仰せつかり、クラブ初の3代にわたる会長職となりました。

私は20代後半に米国留学を経験し、2年間の留学期間中には「湾岸戦争」が勃発し、揺れ動く国際情勢を当事国の一つでもある米国内で身近に見聞きしたことは、感じることも多く忘れられない経験です。家業に戻ってからは、自社商品のみならず日本酒全体の海外普及にも取り組んでいます。

塩釜RCに入会してからは、留学経験を活かすということで、クラブでもまた地区でも国際奉仕委員会に所属また出向する機会が多くなりました。菅原裕典ガバナー年度のソウル世界大会において、地区国際奉仕委員会で東日本大震災の復興支援に関する発表を行ったのも良い思い出です。

今年度は、皆様のお力添えをいただきながら、松塩グループ内各ロータリークラブと地区との橋渡し役となり、各クラブにおいて加藤雄彦ガバナーの意を汲んだ充実した活動が実施されますよう精一杯努める所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

ガバナー補佐紹介



第7分区ガバナー補佐

及川 正紹

(仙台RC)

第7分区青葉ゾーンのガバナー補佐を拝命しました仙台ロータリークラブの及川正紹です。宜しくお願い致します。

2025-26年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長の突然の辞任は驚きでしたが、彼の「UNITE FOR GOOD」「良いことのために団結しよう」というメッセージは新会長フランチェスコ・アレツツォ氏に受け継がれて、全世界のロータリアンへのメッセージに代わりはありません。

加藤ガバナーは4つの優先事項

「IMPACT」より大きなインパクトをもたらす

「REACH」参加者の基盤を広げる

「ENGAGEMENT」参加者の積極的にかかわりを促す

「ADAPT」適応力高める

これらの優先事項を「ロータリーと共に歩む旅の計画」と解りやすく例え、一緒に旅に出ようと我々にメッセージを送っています。

私の役割はガバナーの旅行計画を担当クラブの皆様へ解りやすく伝え、また、各クラブの皆様のご意見、ご要望を率直にガバナーにお伝えして、一緒に「旅」に参加していただくことだと思います。微力ではございますが、クラブと加藤ガバナーとの架け橋となるよう努めたいと存じます。皆様のご協力とご指導賜りたくお願い申し上げます。



第7分区ガバナー補佐

渡邊 宏

(仙台北RC)

茨城県日立市で生まれ、1976年東北大学を卒業しました。卒業後、建築設計事務所の仙台支店に勤務、1996年分社独立し、現在株式会社関・空間設計の取締役会長です。職業分類は建築の設計監理です。東北6県で活動、仙台では仙台駅前のアエル、仙台市ガスサロン、江陽グランドホテルが代表作です。東日本大震災後は、多様な主体が集う復興とまちづくりのプラットフォーム「みやぎボイス」を2013年から主宰し、ラウンドテーブルでの意見交換と報告書を発信してきました。家族はパートナーと一女一男です。

1958年創立、60名の会員を擁する仙台北ロータリークラブに2010年に入会、プログラム委員長、クラブ会長、ガバナー事務所副代表幹事、ロータリーの友地区代表委員を担当してきました。昨年よりクラブ行動計画推進リーダーです。

今年度はガバナー補佐として、加藤雄彦ガバナーの「口」以外の役割を担いながら、「公共イメージ向上」「クラブの行動計画推進」と「クラブサポート」のためにクラブと地区・ガバナーとの「連絡役」として、対話とサポートに努めます。

いまRIの最重要課題は「会員増強」です。その基本となる「ロータリーを知り、好きになり、楽しむ」クラブづくりを目指して、「親睦と学び」と「四つのテスト」を掲げて、地区のロータリアンと明るく元気に進んでいきます。

Unite For Good 一年間よろしくお祈りします。



第8分区ガバナー補佐

今野 茂男

(丸森RC)

今年度、第8分区阿武隈ゾーンのガバナー補佐を務めることになりました、丸森ロータリークラブの今野茂男です。

不安と緊張で一杯ですが、仙南5クラブの皆様方のご協力をいただきながら1年間努めて参りたいと思いますので、よろしくお祈りいたします。

まずは、9月のガバナー公式訪問に向けて、各クラブの1回目の訪問を準備中です。1年間よろしくお祈りします。



第8分区ガバナー補佐

志村 浩幸

(白石RC)

この度、第8分区ガバナー補佐(蔵王ゾーン)を仰せつかりました、白石RCの志村浩幸です。微力ではございますが加藤ガバナーの会員と共に歩むロータリーの旅、旅は「検討し、更新しよう」を実現するために、各クラブとのパイプ役として、地区の活動を円滑に進めるための役割を担います。加藤ガバナーのメッセージとしてお伝えしている、4つの優先事項、(より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤の広げる、参加者の積極的なかかわりを促す、適応力を高める)3ヵ年行動計画を検討、実行し比較検証し更新できる様に各クラブに促します。例会に出席することは義務ではなく権利です。ロータリーの親睦、奉仕、学びを知りましょう。地区補助金を公平に活用し地域における公共イメージの向上を図りましょう。ポリプランを支援しましょう。まだまだ伝えたい事はありますが、ロータリークラブの発展と地区の活性化に貢献してまいりますので1年間よろしくお祈りいたします。

多賀城1300ロータリー衛星クラブ創設の申請調印式

多賀城ロータリークラブ会長 芦沢 卓也



2025年7月3日(木)多賀城ロータリークラブ例会において
左手から、加藤雄彦ガバナー、多賀城RC 幹事沼田真一、多賀城RC 会長芦沢卓也、多賀城1300ロータリー衛星クラブ議長尾形淳、
幹事アンナ・パブロア、ウクライナ第2232地区ガバナーオルハ・パリチェック

7月3日(木)、本年度最初の例会において、ウクライナ第2232地区よりオルハ・パリチェック・ガバナーならびにイリヤ・オディンツェ地区教育・青少年交換委員長をお迎えし、加藤雄彦ガバナーの立ち合いのもと、多賀城ロータリークラブ初の衛星クラブとなる「多賀城1300ロータリー衛星クラブ(尾形淳 議長)」の創設申請に関する調印式を執り行いました。

本クラブは、日本のロータリーにおいてこれまで前例のない「国際共同委員会の企画・運営」を主な目的とした、画期的な分野別クラブです。私たち多賀城ロータリークラブとともに、国際奉仕の新たな幕を開けるパートナーとしての活躍が期待されます。



ロータリー・マガジン編集チームより

親愛なる購読者の皆さまへ

ロータリーの暦では、7月は移行の時期です。新たなリーダーが指揮を取り、私たちは新しい年度の奉仕、友情、そしてインパクトに向けて歩み始めます。今回の特別号の『ロータリー・マガジン』は、国際ロータリーの2025-26年度のリーダーシップとその活動計画を紹介するガイドです。

今月号では、理事会メンバー、ロータリー財団の管理委員、ガバナーなど、ロータリーのリーダーたちの背景をご紹介します。また、「ロータリー・パケットリスト(やりたいことリスト)」を参考に、わくわくするような一年の計画を立ててみてください。重点分野についてさらに理解を深め、皆さまのご寄付がロータリー財団を通じてどのように社会に貢献しているかをご確認いただけます。

ロータリー・ラーニング・センターのコースで、スピーチ、対立解決、リーダーシップなどのスキルを高めたいと思いませんか？ 今では「RotaryLearn」アプリで、外出先でも受講が可能になりました。始め方のガイドも掲載しています。さらに関わりたい方は、2026-27年度のロータリー年度に向けた委員会への応募方法もご紹介

しています。

皆さまからの情報提供もお待ちしています！
記事に関するヒントやアイデアがあれば、magazine@rotary.org までお知らせください。

友人や同僚に共有したい記事があれば、「共有」機能を使ってアクセスリンクを送ることも可能です。また、マガジンのウェブサイトでは、選りすぐりの記事や独占コンテンツを簡単にシェアできる形式でご覧いただけます。

音声で楽しみたい方は、Rotary Voices ポッドキャストをチェックしてください。雑誌の記事の音声版に加え、特別インタビューを含む完全版エピソードも配信しています。ぜひご購読いただき、気に入っていただけましたら高評価やレビューもお願いします。

敬具

ロータリー・マガジン編集チームより

Dear Subscriber,

On the Rotary calendar, July is a time of transition as new leaders take the reins and we look ahead to another Rotary year of service, friendship, and impact. This special issue of Rotary magazine is your guide to RI's 2025-26 leadership and the year ahead.

In this month's features, explore the backgrounds of Rotary leaders including the Board of Directors, the Trustees of The Rotary Foundation, and the district governors. Use our Rotary bucket list to plan an exciting year. Get more familiar with our areas of focus and see how your generosity is making an impact through The Rotary Foundation.

Want to deepen your member experience with a Rotary Learning Center course on public speaking, conflict resolution, and other leadership subjects? Now you can take your classes on the road with the RotaryLearn app. We've got instructions on how to get started. Looking for

other ways to get involved? Find out how Rotarians and Rotaractors can apply to serve on committees in the 2026-27 Rotary year.

We want your story tips! Drop us a note at magazine@rotary.org. When you see an article that you would like to share with a friend or colleague, use the Share feature to send them access. And don't forget, the magazine's website offers select stories and exclusive content in a format that's also easy to share.

Prefer to listen? Check out the Rotary Voices podcast for audio versions of the magazine's best storytelling, along with full episodes featuring bonus interviews. Please subscribe, and, if you enjoy what you hear, give us a positive rating or review.

Sincerely,

Your Rotary magazine editorial team

新入会員紹介

新入会員紹介

<p>仙台南 RC</p>  <p>アベ タダアキ 安部 匡晃 2025.7.3 入会 アパレル 食品小売業</p>	<p>花巻 RC</p>  <p>サイトウ トモアキ 齊藤 友暁 2025.7.1 入会 信用金庫</p>	<p>盛岡西 RC</p>  <p>オノデラ カズマ 小野寺 数馬 2025.7.1 入会 傷害保険</p>	<p>盛岡西 RC</p>  <p>シモカワラ シン 下河原 伸 2025.7.1 入会 建築請負業</p>	<p>盛岡西 RC</p>  <p>アシオイ マサフミ 芦生 匡史 2025.7.1 入会 電気設備工事</p>	<p>盛岡西 RC</p>  <p>チバ ノゾム 千葉 希 2025.7.1 入会 コーヒー販売</p>
<p>盛岡西 RC</p>  <p>オオナラ コウキ 大楯 幸輔 2025.7.1 入会 仮設工事請負業</p>	<p>盛岡西 RC</p>  <p>ニユウ ヒデタカ 丹生 英貴 2025.7.1 入会 電話事業</p>	<p>大船渡 RC</p>  <p>カワハラ カズヤ 川原 一也 2025.7.2 入会 鉄道運輸</p>	<p>大船渡 RC</p>  <p>ワタナベ テイゾウ 渡邊 禎三 2025.7.2 入会 鉱業</p>	<p>石巻西 RC</p>  <p>セキヤ アケミ 関谷 朱美 2025.7.8 入会 損害保険</p>	<p>石巻西 RC</p>  <p>ナラヤマ ミカ 楢山 美佳 2025.7.8 入会 飲食業</p>
<p>盛岡南</p>  <p>ゴトウ ケンキ 後藤 謙典 2025.7.2 入会 弁護士</p>	<p>盛岡南</p>  <p>たけだ かつひこ 武田 克彦 2025.7.3 入会 建設業</p>	<p>盛岡南 RC</p>  <p>えんどう しんや 遠藤 新也 2025.7.3 入会 ホテル業</p>	<p>盛岡南 RC</p>  <p>たか はぎ ただし 高 萩 正 2025.7.10 入会 自動車販売</p>	<p>古川東 RC</p>  <p>さ さ き やすはる 佐々木 康晴 2025.7.1 入会 弁護士</p>	<p>古川東 RC</p>  <p>おうち ともひろ 大内 智広 2025.7.1 入会 土木工事業</p>
<p>加美 RC</p>  <p>むらかみ しょうた 村上 翔太 2025.7.2 入会 防水工事業</p>	<p>加美 RC</p>  <p>すぎうら たかひろ 杉浦 貴宏 2025.7.2 入会 税理士</p>	<p>加美 RC</p>  <p>おおいだ けんご 大和田 賢悟 2025.7.2 入会 建設業</p>	<p>加美 RC</p>  <p>たなか そうた 田中 草太 2025.7.2 入会 会社員</p>	<p>加美 RC</p>  <p>さとう ゆうた 佐藤 祐太 2025.7.2 入会 運送業</p>	<p>加美 RC</p>  <p>すず き あつし 鈴木 淳 2025.7.2 入会 電気工事業</p>
<p>仙台東 RC</p>  <p>さいとう のりゆき 齋藤 法幸 2025.7.14 入会 建設業</p>	<p>編集後記</p> <p>6月のマリオ・セザール・マティンス・デ・カルゴ氏のRI会長エレクトの突然の辞任に伴い、7月号・8月号の同時発行という初めての事態となりました。急ぎ原稿修正をいただいた執筆者のみなさま、時間の余裕のない中で再編集に携わった石井様、伊藤様、地区事務局の佐々木様、多くのみなさまのご支援ご協力により無事に発行できましたこと、深く感謝申し上げます。みなさまのお力で、今後何があっても月信発行は大丈夫!という妙な自信ができました。(笑)</p> <p>(月信、ホームページ、ロータリーの友担当幹事) 三浦 泰弘</p>				